

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」 認定こども園 リアンたかのす 保育園

北九州市から民間委託を受け運営を開始してから4年目に本事業に参加しました。開園当時から「3年後には第三者評価事業に参加する」が合言葉となっていました。事業の事を熟知している職員が少ないのも事実でした。そこで、定例の職員会議や園内研修の時間を利用して、まず、本事業の意味や歴史などを職員全員で学び、共通認識を持つ事から始めました。

「学び」の時間を重ねる事で、職員の中にこれまでの保育に対しての課題や共通認識が生まれ意識改革ができていったように思います。中でも最も考えるようになってきたのは当保育園の方針の一つでもある「主体的な子ども達を育てる」ためにはどのような保育を展開していったらいいか、という事でした。そのためには、子ども達の保育環境を「物的にも人的にも整えていこう」という共通意識のもと保育を展開していきました。

当初「認定こども園」としての参加ということで不安もありましたが、内容的には違和感もなく多くの事を学ぶことができました。

「北九州市児童福祉施設等評価基準」は、日々保育を行う私たちにとっては、バイブル的な存在だと思っています。保育に悩んだ時や、つまずいた時等、開いてみたら何かしらヒントをくれるような気がしています。

今回の第三者評価事業へ参加したことで明らかに言える事は、職員の質が確実に向上したということです。

「参加して本当に良かった」と感謝しています。